

大牟田市立田隈中学校

1 本校のESDの特徴

教師は、生徒の主体性を育成するために、カウンセリングマインドをもって生徒指導に当たり、授業の中で生徒指導の3機能（出番・役割・承認）を取り入れ、集団で高め合う力を身に付けさせている。教科授業とESDとの相互関係を図り、外部の人とふれあうことで一層自尊感情を向上させ、やる気を持って活動するようにしている。

その結果、ほとんどの生徒は来校者への挨拶や、地域へ出かけていく様々な活動でも積極的なコミュニケーションをとることができている。また、それらで得られた情報を普段の学校生活や自分の将来の人生設計にも生かし、具体的な進路の実現につながっている。

学校教育目標の達成のため、将来の生き方を思い描き社会貢献しようとする生徒を育むため、ESDと関連付けた教育計画を立てている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	第1学年	第2学年	第3学年	地域との連携
学年の目標	体験活動をもとにして、人との関わり合いを学び、考え方や生き方を共有する。	地域に対する理解を深め、地元への愛着や誇りを持つことができる。	自ら課題を設定し、自分のこれからの生き方や3年間を通じた学習から社会への参画について考える。	・福祉施設
将来を見つめる〈進路学習〉	○進路について見通しを持つ ・高校の種類・進路の種類調べ	○具体的な進路について理解を深める ・Webサイト活用による職業調べ（1学期） ・高校調べ・受験に向けて	○自分の進路に向けて意志決定していく ・進路調べ（1・2学期） ・高校訪問（2学期）	・市役所
誰もが幸せな社会とは〈人権・福祉学習〉	○福祉体験学習 ・車いすバスケットボール・ボッチャ体験を通して（1学期） ○防災学習 ・防災新聞作成（2学期）	○身近な地域の調査 ・社会科における大牟田調べ(大牟田市の特色、抱えている課題、具体的な取組)	○保育学習（1学期） ・幼児の心と発達 ・幼児の生活と遊び ・保育実習	・高校

3 特徴的な活動事例の紹介

○第1学年 福祉体験学習



目標 福祉体験活動を通して、人を思いやる気持ちや行動の大切さを学び、自分にできることを考える。

内容 桜花台クラブの方を招き「配慮」について講義を受けた後、2種類のパラリンピック公式競技「車椅子バスケットボール」と「ボッチャ」を体験した。

学んだこと 社会の平等と、身体が不自由な方への「配慮」が大切だとわかった。平等な社会を自分達で目指していきたい。



○第2学年 Web サイト活用による職業調べ



目標 自分が望む生き方を実現していくためには、どういった働き方を選ぶべきか考え、そういった働き方を実現するためには、これから何をすべきか考える。

内容 iPad を使ってキャリア教育・職業調べサイト「Edu Town あしたね」を活用し、自分の好きなこと・興味のあることから職業を選んで調べる。

学んだこと 職業の魅力や、仕事をしていて大変なことを知り、その職業に就くためにどんな進路を選べば良いか考え、勉強の仕方や進路について考えるきっかけになった。

○第3学年 高校訪問



目標 受験生として高校の雰囲気に触れ、後日行われる各高校への体験入学に向けて、予行演習とする。

内容 いくつかの学科に別れて実際に授業を受け、施設の見学や、学食体験を通して、高校生活を体験する。

学んだこと 中学校とは異なる授業の様子に興味を持った。自分の卒業後の進路の目標をしっかりと持ち、気を引き締めて学校生活を送るきっかけとなった。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・福祉体験学習を通して、パラリンピックが開かれる年に実際に公式競技として認定されている「車椅子バスケットボール」と「ボッチャ」を体験することで、パラリンピックに対する関心を高めることができた。また、障害を持つ方への「配慮」について考え、日頃の生活でも生かそうという意欲を持つことができた。
- ・Web サイト活用による職業調べを通して、自分が将来就きたいと考えている職業や、興味を持っている職業について、大変なところ、やりがいなど、多角的な視点から調べ、複数の職業を比較しながら自分の進路について考えることができた。
- ・高校訪問を通して、高校の雰囲気に触れることで、受験に向けての意欲を高めるとともに、日頃の学習の意味や、進路実現に向けて日頃の生活を振り返るきっかけとなった。

○課題

- ・コロナ禍のため実施することができなかった活動があり、臨機応変に効果的な取組を考え、目標に沿った活動ができるように計画を立てる必要がある。